

都市構造可視化計画サイトの活用 ～アイが大きい基山町での活用事例～



佐賀県 基山町
定住促進課 都市計画係

1. 職場内で

都市構造可視化研修で得た情報を忘れないうちに共有するため、課内の職員に対しサイト及び操作方法について紹介を行いました。
(写真、撮っておけばよかった)

<人口分布の経年変化>

2060年の基山町

真っ青!
(*_*)

<公共交通利用圏と高齢者分布の関係>

JR沿線沿いと
山手がはっきり
と2極化

2. 職員の反応

職員から出た意見

<活用について>

○地図上に数値を重ねてみることでわかりやすく、住民説明会や各種審議会等で活用できそう。

○空家のデータを入れてほしい。高齢化率等と重ねあわせて、空家対策協議会への説明資料としたい。

○コミュニティバスの路線やダイヤの見直しに活用できるのではないか。

○庁内全体の様々な業務で活用の可能性がある。

<操作・機種について>

○3Dマウスの操作方法が難しいが、使いこなせたらゲーム感覚で面白そう。

<データについて>

○高齢化の進行が視覚化（高さは低く真っ青）されることにより、より一層深刻な問題であると感じた。

○前回の国勢調査以降に人口が下げ止まり、微増に転じているのでそのデータが反映されると違う結果になるのではないか。

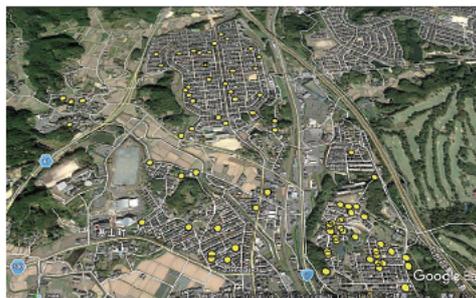
3. 具体的な活用（1）

空家データと人口分布を連動

- 町で保有する空家データを取り込んでもらい、人口分布と連動
- 町内の空家140戸のうち、市街化調整区域の空家は36戸（約25.7%）
- 大規模開発団地に空家も多いことが分かった。
- 大規模な住宅開発による一定の世代の転入が一時期に集中したことにより、近年は若年層の転出とともに急速な高齢化が課題。
- 引き続き空家と高齢化の関係を研究する。

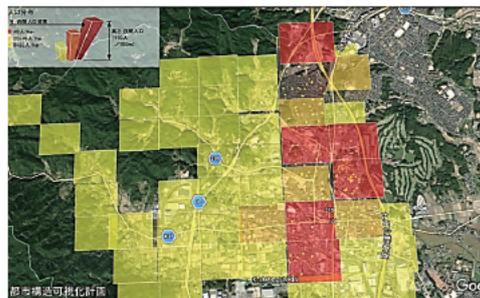


空家担当との意見交換



町内の空家分布（2019年）

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用



赤色（開発団地）に空家が多い

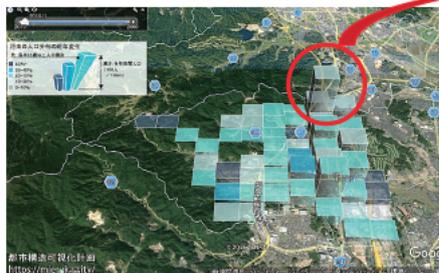
3.具体的な活用（2）

立地適正化計画策定に活用

- 前出の空家データと人口分布を連動させたものを居住誘導区域の設定に活用。
- 現時点で人口密度も高く人口も多い団地でも、空家が多く将来推計人口が減っている箇所は検討が必要という意見を業者から受ける。
- 空家であっても、管理されている空家（年に数回所有者が戻ってきている）ものも多数あるため、今後そのデータを反映させ、再検討することとした。



計画策定支援委託業者に説明



夜間人口が多いけやき台団地
(2010年)



夜間人口が2/3へ減少
(2060年)



空家が多数あり
(管理された空家も多数)

i-都市交流会議2020 補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

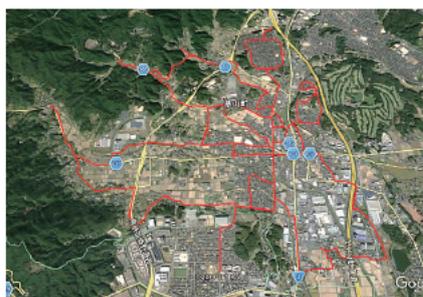
3.具体的な活用（3）

コミュニティバス路線データと公共交通利用圏と高齢者分布を連動

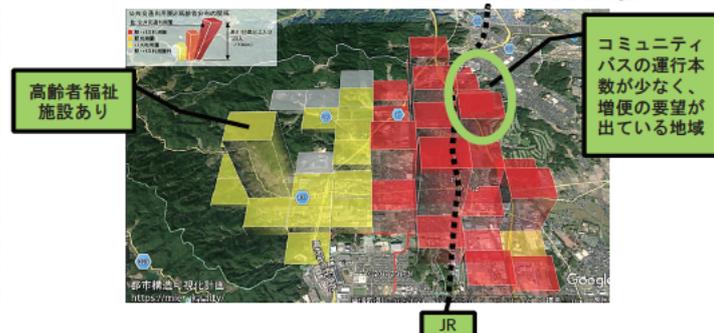
- コミュニティバス路線データを取り込んでもらい、「公共交通利用圏と高齢者分布の関係」と連動
- 山間部で高齢者数が突出して多いところには、高齢者福祉施設があるため、検討から外す。
- JR沿い西側はコミュニティバスの運行本数も多く、高齢者の足となっている。
- JR東側はコミュニティバスの運行本数が少なく増便の要望も出ている地域であるが、JRとの相互利用を含めて検討が必要。



地域公共交通担当との意見交換



コミュニティバス路線図



高齢者福祉施設あり

コミュニティバスの運行本数が少なく、増便の要望が出ている地域

JR

i-都市交流会議2020 補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

4. 今後に向けて

もっとこんなことができるのでは

- 庁内他課への都市構造可視化計画の普及啓発により、さまざまな施策に活用
- コミュニティバスのバス停、バス停ごとの乗降客数を入れることによる、路線・ダイヤの見直しの際のわかりやすく説得力のある資料作成
- 空家データにアンケート調査結果（利活用の意向等）をプラスし、空家の種類を分類することで、様々な施策へ速やかに対応できる基礎データとなりうる。

そのためへの課題と要望

- 庁内はGISを自由に使える環境ではない。無料のGISアプリ（QGIS）を入れようにもインターネットが自由に使えない（仮想デスクトップの導入）ため、ダウンロード不可。
- 空家やコミュニティバス等、町が保有しているデータがすべてPDFかExcel（若しくは紙データ）のため、GISへ反映させるのが難しい。（経度・緯度を調べるところから）
- 無線LANがなく、地域説明会での利用ができない。
- 3Dマウスは高価で、購入は難しい。
- 機器貸与終了後も、「都市構造可視化計画」Webサイトのデータを活用してGoogleEarth Proでの「見える可」ができるよう検討していきたい。

佐賀県基山町のご紹介



アイが大きい基山町

～佐賀県にも福岡県にも通じる唯一の地名も由来～

佐賀県三養基郡 基山町

面積：22.15km²（町域の3/5が山林）

人口：17,451人（R1.11.30現在）

町花：つつじ

概要：佐賀県の東端に位置し、福岡市のベッドタウンとして発展。町内を国道3号、九州自動車道、県道17号、JR鹿児島本線が縦走し、交通の要衝地となっている。

基山町の歴史

- ・1354年前に日本最古の朝鮮式山城である基肄城築造
- ・江戸時代を中心に273年間対馬藩領として、宗氏の治政下
- ・1969年からの30年間で人口が2倍に

基山町の趨勢

- ・地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰受賞（H29.11）
- ・地方創生「コンパクトシティ」モデル都市に全国の町で唯一選定（H30.3）
- ・「中心市街地活性化計画」が内閣総理大臣から認定を受ける。（H30.3）
- ・「歴史的風致維持向上計画」が文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣より認定を受ける。（H31.1）



☆ 基山町へのアクセス

博多駅から電車で約25分
福岡空港から高速バスで約30分
福岡市中心部から約20キロ！

町出身の著名人

- ・広島東洋カープ 長野 久義選手
- ・横浜DeNAベイスターズ 濱口 遥大投手
- ・キングダム作者 原 泰久先生
- ・どろっく 江口さん・森さん ほか